

講義名	生涯発達論		
科目区分	学部専門科目		
担当教員	吉村 典子		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	52050

主題と概要

人は生涯を通じて発達し続ける存在である。幼児期から形成され始める自己概念や他者との関係も、加齢と共に発達し、また変容していく。この過程をErikson, E.H. は8つの人生周期にわけ、各段階に発達課題と発達の危機の概念を提唱した。また服部(2000)はそれに思春期と成熟期を加えている。本講義では服部による10の人生周期にそって、人の発達過程について発達課題を中心に捉え、考察することを目的とする。また、各周期(発達段階)での不適応が、どのような問題を生じるのかにも焦点を当てる。

到達目標

10の発達段階の特徴を知り、それぞれの発達課題と心理社会的危機の内容を理解する。また、各発達段階における代表的な発達の様相を理解する。

提出課題

毎回の講義後に、講義内容について簡単な質問を課す。また、内容についての意見や考察の記述を求めることがある。

評価の基準

出席点および授業中の態度	・・・10%
提出課題	・・・10%
理解度テスト(1, 2)	・・・30%
期末試験	・・・50%

履修にあたっての注意・助言他

基本的な受講マナーを守ること。
講義で取り上げる心理学的知見は限られているので、興味や疑問を持った内容は、自分で調べ、学習する姿勢を持ってほしい。そのための参考資料などは随時提示する。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

講義時にプリント資料を配布する。
参考文献
生涯人間発達論(2000) 服部祥子 医学書院
問いからはじめる発達心理学(2014) 坂上裕子他 有斐閣

授業計画

1. ~2. 生涯発達および発達課題とは何か
全体の講義概要の説明・なぜ生涯発達がとりあげられるのか・人生周期を10に分けた理由
3. ~4. 乳児期の発達課題と危機・・・虐待の与える影響について
5. 幼児期の発達課題と危機・・・自律性と自発性を育てる・親の役割と諸問題
6. 理解度テスト(1)
7. 学童期の発達課題と危機・・・自尊心の発達
8. 思春期 自己中心性と孤独
9. 青年期 自己の模索と自我同一性の危機
10. 成人前期の発達課題と危機・・・モラトリアム期の延長として
11. 理解度テスト(2)
12. 成人中期 生殖性と停滞性
13. 成熟期の発達課題と危機・・・第2の人生にまつわる問題
14. 老年期の発達課題と危機・・・発達の最終段階とは
15. まとめ

予習・復習

毎回の講義後に、講義内容について簡単な質問を課す。それに答えられない場合は、内容の基本的な部分を理解していないことになるので、その場合は内容について復習し、わからない箇所は質問するなどしてほしい。

備考